



湖東支部会報

平成29年8月1日（平成29年度 第1号）◆発行責任者 藤居 忠治 ◆編集責任者 澤 好成

今年度から支部組織が4部体制となり「地域活動部」新設なる！！

去る4月28日(金)

平成29年度定期総会が彦根市中老人福祉センターで開催されました。

前年度の事業報告、決算報告、新年度の事業計画、収支予算、また支部規約の改正についての議案が提案され、全て原案どおり可決されました。役員は全員、留任となりました。支部規約の改正に伴い、地域活動部が新設されました。6月6日(火)に同センターで開かれた運営委員会では、初代地域活動部会長に宮川文雄氏が選出され、各部会に新たに常任委員が加わる新体制が発表されました。総務部会、研修部会はそれぞれ8名、広報部会は9名、地域活動部会は10名となりました。

長寿者慶祝

29年度同窓会本部総会が5月16日(火)県立長寿社会福祉センター(草津市)で開催され、長寿者慶祝は29

名、うち湖東支部では5名の方で次の通りです。

- 草野一二三(13 園芸・多賀)
 - 鈴木君江 (15 生活・甲良)
 - 藤 一重 (15 生活・甲良)
 - 柴崎 英 (15 文芸・甲良)
 - 北村昌子 (23 生活・豊郷)
- (敬称省略)

今後の主な日程予定

- ★新入会員歓迎会
9月28日(木)
一休庵にて
- ★グランドゴルフ大会
10月10日(火)
荒神山G・G場にて
- ★四支部G・G大会
10月19日(木)
東近江市
やわらぎの郷公園にて
- ★研修旅行
11月7日(火)
三重県伊勢市方面へ
- ★本部第10回
地域活動事例発表会
11月6日(月)
近江八幡市
ひまわり館にて

平成29年度の活動に向けて

湖東支部長 藤居 忠治



会員のみなさまにはますますご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に格別のご支援、お力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私、昨年4月の定期総会において湖東支部長の大役を仰せつかりましたが、何分微力で至らない点が多々あるなか、会員及び役員のみなさまの温かいご支援に支えられ、2年目を迎えることができ、心から感謝しております。

今年度も皆様方のご支援をバネに湖東支部発展のため精一杯努めてまいる所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、今年度は総会でご承認いただきました支部組織の改正を図り、新しく「地域活動部会」を設け、4部会制にし、なお常任委員さんにも何れかの部会に所属していただくよう6月7日の第一回常任委員会で決議しました。

新しく設けた「地域活動部会」では昨年調査いたしました地域活動の実態を踏まえ、同期同学科の仲間の活動ではなくレイカディア大学同窓会として地域に溶け込んだ活動を目指す方向で進めていきたいと思っております。そのためにはまず各市町村の社協やボランティア協会などと連絡を取りながら実態把握を行い、今後の活動の方向をまず決めることが大切であります。

結果的に、各分会に目玉になる地域活動を作ることを目指して頑張ろうではありませんか。みなさまのご協力とご支援をお願い致します。

会員の広場

「新たな挑戦」

北近江文化学科37期生

竹内 和美



レイカディア大学入学の動機は、喜

ひとつなんでも見て、好奇心をもって

① 学習部会 ② 社会貢献活動部会

生に近江地域の「温かな人情と心」を

後口、生徒より、楽しい民泊だった

「いろいろな活動を通じて」

健康への学科37期生

中川 藤兵衛

レイカディア大学事務局から、彦根

内チラシをもらったのがきっかけで、

「昨年秋に、この講座を受けること」



講座終了後、町内

プとして、関心のある人が集まって、

次に、レイ大卒業後の活動について

また、北近江文化学科の人たちとも、

「覚えて、腹式呼吸」

健康への学科37期生

西澤 則彦



レイ大では健康への道を多く学ん

呼吸については、一千五百年前ですと、

お釈迦様は、苦を克服する一助として

普段は鈴鹿山系でトレーニングをして夏には高山を目標です。これが我が健康法だ。昨年は南アルプスの北岳と間ノ岳を歩くことができた。今年は白馬三山の山歩きを予定。

もう若くはない。痴呆予防を意識しながら「関心・感動・感謝」を生活のモットーに、より良い呼吸法で健康いきいき人生を歩みたいと願っている。レイカディア大学の大きな目的は、卒業後の社会活動の実践だが、報告できるような内容は今ひとつにて、私事だけの寄稿になってしまいお詫言を。湖東支部諸先輩のご指導よろしく。

「照于一隅」

北近江文化学科37期生

上田 常雄



同窓会報第三十三号『新入社員のごくご』に、座右の銘は小学校卒業記念に校長先生からいただいた色紙「照于一隅」と書きました。このことについてもう少し詳しく述べたいと思います。

言葉はいくつかの言葉の中から「好きな言葉」を選びなさいと言われ、「世の中の役に立つ人になる」という意味のこの言葉を選んだ記憶が強い。

今回の投稿にあたり、少し調べてみた。「一隅(いちぐう)」を照らす」という言葉は、伝教大師最澄が八一八年、天台宗門後継者の修行規定として書いた

「山家学生式(さんげがくせいしき)」の冒頭部分にある「一隅を照らす。これ則ち国幸なり(照于一隅此則国幸)」また、「照于一隅」は誤読であり、「照千一隅」すなわち「千里を照らす人説が正しい」との意見が昭和四十年代に出て、今も決着がついてないようだ。

卒業後も、忙しい日々を送らせてもらっている。自治会・老人クラブ等での地域活動、そして、同窓会員で結成した「みなよし会」での、学習・地域貢献・レクリエーション活動。また、昔の会社の仲間より、海外での仕事(短期技術指導)に誘われ、行くと思っ

「浦島太郎状況からの脱出」

北近江文化学科37期生

諏訪 俊雄



高校卒業後、学生時代と企業人生の四十六年間を他都道府県で生活してきた。少し振りに生まれ故郷の滋賀県に戻って早や四年近くになる。戻った当初

は、滋賀県に関し全く浦島太郎状況にあった。滋賀県の奥深い歴史や文化を学びたい、また何か地域の役に立ちたいとの

意識が高鳴り、レイカディア大学の門戸を叩いた。そこに待っていたのが向心旺盛な多くの新しい仲間達であっ

た。また一年生の後半から、界隈の自治会役員活動も始まり、現在三年目となっている。持て余す時間の毎日から

急(多忙)になり、私の本当の第二の人生が始まった。本当に時の流れが早く、卒業して一年近くになる。仲間たちと「みなよし会」を発足させ、生涯学習部会、地域貢献部会と「コミュニケーション部会」を作り、毎月なんらかのイベントを行っている。お陰様で、レイカディア大学時代を含め滋賀県の歴史などを多く学ぶことが出来て、当初の浦島太郎状況から少し脱却できたと自負している。関東地域や北海道などから企業人生で培った多くの仲間が彦根を訪問してくれる。その時には勉強した知識で歴史案内ができることに少し満足している。しかし滋賀の歴史はまだまだ奥深く、これからも探求し続けて、来訪する仲間達を滋賀の虜にしたい。

「仲間と共に元気に生きる」

園芸学科37期生

廣田 由行



タイトルの「仲間とともに元気に生きる」は、昨年の大学祭のクラスの寄せ書きに書いた言葉です。

三十七期園芸学科はチームワークが大変良く、卒業後も、共に学んできた

仲間との絆を大切にしながら、今後の人生を元気に生きたいとの思いを込め

たものです。

卒業してからは、同期の仲間とは回数、里山整備と市民家の庭園の整備等の活動に取り組ませていただいています。大学で学んだことを活かしたいとの思いもありますが、それ以上に仲間との共同作業や、時には仲間同士の飲み会、また旅行等を通しての触れ合いが自分自身の生きがいにもなり、元気に生きる源にもなっています。

また卒業後も、サポート隊やプロジエクトチームなどでレイカとは関わりをもたせていただいてきましたが、自分が住む地域での活動にも経験を活かせることが多くあるなど、レイカに学んだことは自分の人生にとって大きな転機になったなと改めて思っています。お陰で日々多忙な時間を過ごさせていただいております。ボケないための秘訣として大学の講座で伝授いただいた「キョウイク」と「キョウゴウ」、即ち「今日行くと明日」と「今日用がある」と、むっ追われている今日の頃です。

(順不同)



訪問インタビュー

地域古文書学習の指導者

文学部科15期生

川並 稔男さん



本年5月29日、甲良町の自宅を訪ねた。川並さんは歴史がお好きで、古文書学習の指導者として知らない人はないという。すでに、お答えいただく内容を「コピー」していただいていた。

何事も準備万端のお人柄がうかがえた。大正15年10月30日のお生まれで、間もなく91歳「おならぬ」。◇一番のお取り組みは「中世下之郷は『愛知保』と言われているが、その実態は未だ解明されていない。下之郷「階堂仏の究明、なご下之郷の歴史の研究ですね」◇レイ大に入られたきっかけは「平成二年頃か、滋賀県老人大学で、『古文書読読の特設講座』年間が開催され、それを受講しました。一期生に浜野喜三郎さん(当時甲良町老人連会長、二期生として私当時下之郷老人会長)が受講。卒業後意気投合して甲良町老人連に『甲良町古文書学習クラブ』を立ち上げました。平成四年四月のことでした。」

「浜野氏(老人大学)十期生は他界されたが、クラブは存続している。ちな

みに本年四月現在会員は13名です。この縁で私も老人に入学しました。」

「即ち一年目は老人、二年目は改称したレイカディア大学の十五期生米原校文芸学科ということですね」

◇これまでの人生で苦しかったことは「あえて言うなら、終戦直後の頃、横須賀海兵団で、月月火水木金土、総員起こし、釣の末あげ、遅いと精神棒でしごかれ、お尻が二つに割れた」と思ったことかな。二連休、三連休といった今では笑い話に成ってしまいましたがね」

◇これまでのボランティア活動は「平成10年に、下之郷に80歳以上を対象とした『いきいきサロン』を立ち上げ、同19年4月まで、述べ二百余回開催しました。その間、ずっと会長を務めさせていただきました。その事業推進の功績に対し、平成13年10月、甲良町社会福祉協議会から表彰を受けました。平成十五年以來、甲良町・湖東三山観光ボランティアとして十年間余の活動することも出来ました」

◇出版活動は「古代中世の下之郷・下之郷古文書撰／下之郷の歴史I&II・甲良町古文書撰I&IIが主なところですね」

◇お元気で何よりの日々、座右の銘は「晴耕雨読と和而不同ですね。畑によく行きます。畑で良くしゃべりますよ」

「友達を得て、仲よくしてま

す。ただ、なんでも賛成ということではないですね」

★インタビューを終えて

川並さんがこれまで、色々と立ち上げてこられた力は、このへんにあるよ。また「一日」一句、俳句をお作りになっているという心境を次の訪問で披露いただくことになった。

以下その他の地域活動を頂いたメモから紹介させていただきます。

ア、民生委員児童委員

平成五年から二期六年間

平成10年11月

厚生大臣から感謝状いただく

イ、甲良町文化協会

平成16年度・17年度会長

甲良町選挙管理委員会

委員長通算20年

ウ、平成21年度選挙制度120周年に当たり総務大臣表彰

エ、平成25年第46回総選挙に当たり総務大臣表彰

オ、平成26年11月

旭口単光章受章

平成27年11月

甲良町制60年に当たり表彰

カ、甲良町文化財専門委員

平成27年11月

甲良町制60年に当たり表彰

キ、甲良町古文書学習クラブ

平成14年

老人クラブ伝承活動として滋賀県知事表彰

ク、甲良町土地改良組合理事

平成14年

甲良町土地改良組合理事

平成14年滋賀県土地改良事業関係連会会長愛大支部長表彰

ク、甲良町社会教育委員

コ、甲良町歴史文化友の会会長

サ、滋賀県友弘済会彦根支部長

平成20年一月滋賀県友功芳章

滋賀県知事表彰

シ、滋賀県レイ大同窓会湖東支部

長 平成19年レイカディア大

同窓会 会長賞 受賞

ス、老人クラブ育成に多大の貢献

ありとして平成26年愛大

老人連協議会長より表彰される

訪問インタビュー

澤 好成 記

編集後記

今号から紙面がカラーになりました。皆様のご感想はいかがでしょうか。

新体制のもと初の編集発行となりましたが今回は紙面制限と締め切り都合で投稿を頂いたものの、一部のご紹介等を次回発行へ繰り延べさせて頂いたことをお詫言申し上げます。

より充実した会報を目指して発行に努力しますので今後とも引き続きのご愛読をお願いいたします。

広報部会一同